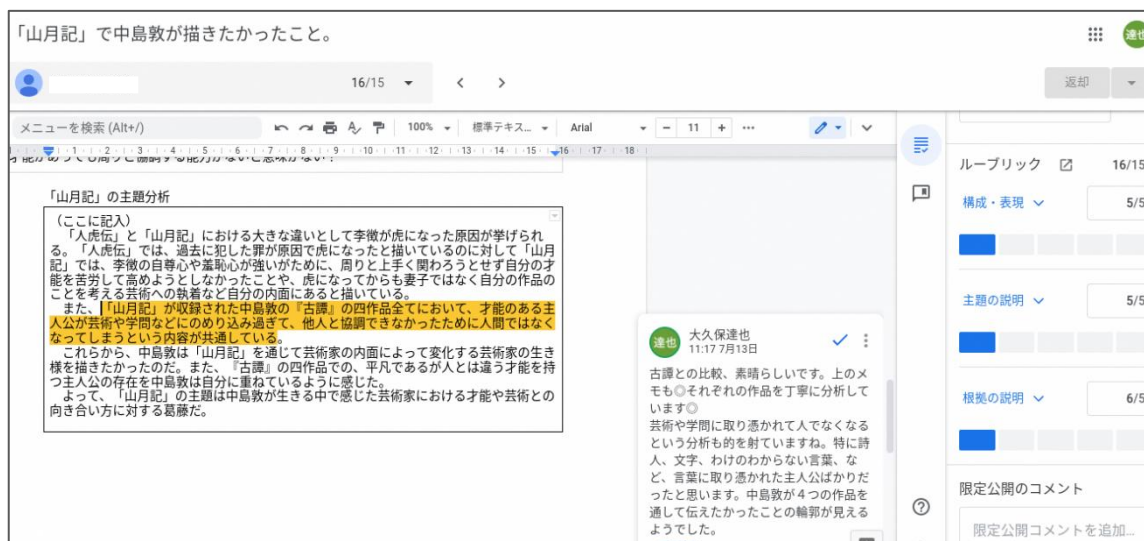


1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立岡山操山高等学校		
実践者等	大久保達也	実践日	令和3年6・7月
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	国語・現代文B		
対象生徒（学年等）	普通科2年		
単 元 名 (教科・科目の場合のみ)	小説：中島敦「山月記」		
使用したアプリ等	Classroom、Forms、ドキュメント		
実践の概要（ねらい等）	1. Formsを使った意見の即時共有 2. ドキュメントを使った班での共同作業 3. ドキュメントを使った個人レポート		
実践の内容			
1. Formsを使った意見の即時共有			
授業中に、本文の読解を記述させるときに、Formsを活用している（画像1）。利活用のポイントは、「即時」に「全員の」解答を「共有」できることである。Formsの設定で、生徒が他の生徒の解答を見られるように設定しておくことで、他の生徒の意見を知り、自分の考えを深めることができる。教員は全員の意見を発問後に確認でき、適宜取り上げながら授業を進めることができる。同じ事をするにしても、紙と集約の時間がなくなり、授業を円滑に進めることができる。			
183行目「俺の毛皮のぬれたのは、夜露のためばかりではない」とあるが、ここでの李徴の心情を説明せよ。 38 件の回答 自尊心と羞恥心によって虎になってしまった李徴が自分よりも優れた人はたくさんいることを知り、悔いを感じ、虎となってしまった今ではもう人間だったときのように自分の気持ち伝えることもできず悔いを感じていて自分の気持ちもわかってくれる人はいないと寂しく思う気持ち。 自分より乏しい才能でも専一に磨いたため堂々たる詩家になった者がいることに虎になってから気付いたことから、自分が今まで才能を磨こうとしなかったことに悔しさを覚えるとともに、自分が無駄な過去を過ごしたことに気付いても今では過去を取り戻すことは出来ないことを悲しく思っているが、その気持は誰にも理解してもらえないため寂しさを感じている。 虎となり才能を空費してしまったことに気づき、悔いを感じて、自分の胸をぐく悲しみや苦しみを誰かに訴えようとはえるが、誰も分かってくれるものがないとわかり、さみしいという気持ち。 虎に成り果てて誰一人自分の気持ちを理解してくれる人はいないとわかり、寂しく、悲しく思うとともに、今まで人間のとときに限るな自尊心と等大な羞恥心で周りを傷つけ自分の才能を空費したことに気づかなくなったことに悔いを感じている。 虎となって自分の至らぬ点に気が付いたことで、自分の行動に悔いを感じると同時に、今まで人間として過ごしてきた日々の行方がわからなくなっていく悲しみを感じるが誰も理解してくれないことに対し苦しく感じている。 (画像1)			
2. ドキュメントを使った班での共同作業			
「山月記」の主題を考えるために、「人虎伝」との比較をさせる活動で、ドキュメントを活用した。利活用のポイントは、紙を使わずに1つのワークシートに班の全員で作業ができることである。「人虎伝」の口語訳が書かれたワークシートをドキュメントで作成し、Classroomで班に一枚配布した。生徒には、ドキュメントの本文の担当箇所の表現に、コメント機能を使って、「山月記」との相違点を指摘させた（画像2）。1つのワークシートに同時に作業ができるので、共有の時間が不要となり、挙がった相違点の意味を考えることに時間を多く使うことができた。			
① 羅西出身の李徴は、皇族の子孫で、領略に住んでいた。李徴は若い時から博識で、詩文を作るのがうまかった。二十歳の時に、州の役所から進士を受験する資格を得て、当時、人々から名士と呼ばれた。天宝十五年の春、尚書右丞の楊元が主管した試験で進士に及第した。数年後、江南地方の県尉に任命された。李徴は、俗事にかまわず、自分の才能を鼻にかけて専らだったので、自分の低い役人であることに我慢がならず、常に気持ちが高ぶって楽しまなかった。同僚と会合するたびに、酔いがまわると、同僚の役人たちを見やって、「俺は、おまえたちと同じ仲間だといえようか、いられはしない」と言った。そのため同僚たちは、みな李徴を嫌っていた。 県尉の任期が終わると、官を辞して帰郷して閑居し、一年あまりも人との交際を絶っていた。その後、生活が苦しくなったので、東の呉楚の地方に出かけ、地方の上級役人に援助を求めた。呉楚の人たちは、ずっと以前から李徴の評判を聞いていたので、李徴がやってくる、みな宿舎を用意して接待し、酒宴は数宴を極めた。辞去しようとする、みな手厚く饗別を贈って李徴の財帛を満たした。李徴は呉楚に滞在して一年あまりになろうとしていたが、もらった饗別はたいそう多かった。そこで西に向かって領略に帰ろうとして、まだ家に着かない途中、汝墳（汝水）の旅館に泊まったが、突然病気に罹って発狂し、従者を鞭で打った。従者はその苦しみに耐えられなかった。こうして十日あまりたったが、病氣はますますひどくなった。ほどなく、ある夜、狂って走り出し、どこへ行ったか分からなくなってしまった。召し使いは李徴の行方を探し尋ねたが、一か月たっても李徴は結局帰ってこなかった。 8:59 昨日 皇族の子孫 8:57 昨日 李徴は詩文の才能があった 9:10 昨日 身も高く、才能もある恵まれた人公に仕立てられたから？ 9:00 昨日 自分から人との交わりを避けた。周囲から嫌われていた。 (画像2)			

3. ドキュメントを使った個人レポート

2の「人虎伝」との比較から、「山月記」の主題を文章でまとめるレポートを課した（画像3）。ドキュメントのループリック評価機能を用いて、教員が「表現・構成」「主題の説明」「根拠の説明」など、複数の観点で評価した。また、考察のための資料として、中島敦『古譚』の他の3作品を提示したが、その際も Classroomに「青空文庫」のリンクを貼ることで、紙での配布が省けた。今回は教員による評価のみ行ったが、提出されたフォルダをクラスで共有することで、全員分のレポートが閲覧でき、相互評価なども可能になる。



（画像3）

参考となる HP 等

〈本事例の内容は次の動画でもご覧になることができます〉

<https://www.youtube.com/watch?v=4a7oLlC8o9I&t=4s>